

日中同形語「発達」の意味用法

－動詞「発達する」と「发达」を中心に－

張瑋¹

岩城裕之²・遠藤隆俊²

(¹ 安徽大学外語学院・² 高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門)

Comparison of Meaning and Usage of the Japanese and Chinese Homograph “発達” (“Progress”)

Wei Zhang¹, Hiroyuki Iwaki² and Takatoshi Endo²

¹*Anhui University School of Foreign Studies;*

²*Kochi University Research and Education Faculty Humanities and Social Science Cluster Education Unit*

Abstract: While the homograph “発達” holds the meaning of “progress” in both Japanese and Chinese, there are also some notable differences in terms of usage between the languages. A contrastive study of the homograph brought to light the following points.

In Japanese, “発達する” (hattatsu suru) is (1) used when there is a clear a goal to be reached, and (2) can also be used to describe bodily development or other such situations that do not involve conscious human effort, making it generally less agentive when compared to its Chinese counterpart. Conversely, in Chinese, “发达” (fādá) (1) conveys the meaning that something has become better than it was in the past, and (2) is used for deliberate, highly agentive actions that involve effort. Japanese and Chinese homographse.

キーワード: 複合名詞, ゴール, 能動性

Keyword: Compound nouns, goals, activeness

1. はじめに

日中両国は漢字を使用するため、数多くの日中同形語が存在する。その意味と形態の多くは似ているが、品詞と用法面でズレがあることもあり、中国人の日本語学習者は母語の影響を受けて日本語での使用に誤りを生じることがある。

その中に「発達」（中国語「发达」）という同形語がある。日本語の「発達」と中国語の「发达」は形態上も意味上も似ており、いずれも動詞の用法を持つ。しかし、実際に詳しく分析すると、日本語には中国語には見られない用法もある。例えば「発達障害」のような用法である。障害に対して日本語では「発達」を用いるが、中国語では「發育」を用い、「發育障害」となる。

本論文はコーパスのデータに基づき、日中同形語「発達」と「发达」の共時的な異同を、文法的な働きと意味の観点から明らかにすることを目的とする。

2. 研究の方法

2.1 先行研究

日中同形語の分析については、以下のような研究がある。

河内康憲(1992)は、全体的に見れば日中同形語が日本語においては狭い語義を持ち、抽象的意義に傾く傾向があること。また感情的色彩においても差異を見せていると考え、状態を表す10組の日中同形語を選びその語義と用法の比較研究をした。また、宮島達夫(1993)は日中同形語の文体差に着眼し、その異同を分析した。

本稿は「発達」について分析するが、コーパスを用いて「発達」と結びつきやすい語について考える。コーパスを利用した研究の一つに、呉夫迎(2017)がある。呉はコーパスを利用して、コロケーションから日中同形語「犠牲」の内容語の異同を考察したが、本論文も同様の方法をとる。また、結びつきやすい語の意味分野を確定するにあたって、本論文では『分類語彙表』を用いるが、同様の手法の研究に李喆(2018)がある。日中同形語「感動」についての研究にコーパスから用例を採取し、『分類語彙表』を参考の上で、意味分類を行った。

2.2 研究方法

日中同形語「発達」について、まず、辞書の記述を確認し、大まかな状況を捉える。次に、日本語「発達する」の用例を、国立国語研究所が公開している現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)を利用して収集する^(注1)。また、中国語「发达」の用例を、北京語言大学による中国語コーパス(BCC)を利用して収集する^(注2)。

これらのコーパスを利用して収集した日本語の「発達する」と中国語の「发达」の用例について、①文法的特徴(品詞)の分析、②「何が」発達するのかについて、共起する名詞による分析、③日本語の「発達」と中国語の「发达」の具体例からみた意味用法の分析、の3点の分析を行う。そこから日本語と中国語の「発達」の意味の違いについて考察し、最後にこのような日中語の意味の違いが生じた理由についても触れてみたい。

3. 辞書の記述

3.1 日本語の「発達する」について

まず、日本語と中国語の辞書の記述を確認する。

日本語は『日本国語大辞典 第2版』(小学館)を用い、中国語は『現代漢語詞典 第7版』(商務印書館)を用いる。いずれも、それぞれの言語で最も詳しい解説がなされている辞書である。

『日本国語大辞典 第2版』によると、日本語「発達」の意味は三つある。

- ①發育して完全な形態に達すること。また、それに近づくこと。身体や精神などが成長すること。
- ②進歩して完全な階段に達すること。また、その段階に近づくこと。進歩發展すること。
- ③低気圧や台風などの規模が次第に大きくなること。

上にあげた「発達」は名詞であるが、「発達する」というサ変動詞も存在する。本稿では動詞「発達する」について考察する。

3.2 中国語「发达」について

中国語は孤立語であり、一つ一つの漢字が独立した音と意味を持っている。そのため、中国語の品詞性は語と語、または語と文の関係から判断することになる。中国語「发达」は「发达（動詞）＋名詞」、「名詞＋发达（形容詞）」のように動詞と形容詞としての用法を持つ。

『現代漢語詞典』によると、中国語「发达」の意味は次の通りである。

- ①（事物）已有充分发展；（事业）兴盛：肌肉～ | 四肢～ | 工业～ | 交通～。
- ②发迹；显达：你今后～了，可别忘了老同学啊！

これを日本語に翻訳すると、次のようになる。

- ①（物事が）十分に発達している。（事業が）盛んである。「筋肉発達，四肢発達，工業発達，交通発達」
- ②出世する。「今後出世しても，クラスメートを忘れないでください。」

辞書によると、日本語「発達」と中国語「发达」は進む，進歩するという意味を持っており，意味は非常に近い一方，異なるところもある。

日本語「発達」には「低気圧や台風などの規模が次第に大きくなること」という気象に関する意味があり，中国語では，「形成」，「生成」などを使用する。

また，中国語「发达」は「出世する」という立派な地位身分を得るという意味があり，日本語「発達」にはこの意味がない。

4. 「発達」の文法的特徴について

4.1 品詞性

3で，日本語「発達」には動詞（「発達する」の場合）と名詞の用法があり，中国語には動詞と形容詞の用法があることを述べた。そこで，コーパスで「発達」「发达」の用例を検索し，どの品詞で出現するのかを調査した。

中国語「发达」	動詞	67.3%	形容詞	32.7%	名詞	0%
日本語「発達」	動詞	36.4%	形容詞	0%	名詞	63.6%

中国語「发达」の動詞の使用率は67.3%で，日本語では動詞「発達する」の使用率は36.4%であった。中国語では動詞としての使用が盛んで，日本語では名詞としての使用が盛んであることが指摘できる。

4.2 複合名詞としての例

中国語に特徴的な例に「発達国家」という用例がある。「発達」の部分は動詞であるが，「発達＋○○（名詞）」で全体としては4文字の複合名詞である。

このような，動詞＋名詞からなる複合名詞は中国語に非常に多いが，日本語の場合は「発達障害」のように，名詞と名詞の結合となる。

中国語話者が日本語を学ぶ時、複合名詞内部の品詞の構造が日本語と中国語で異なることには注意が必要であろう。

5. 「発達」の対象となる名詞の分析

5.1 分析の対象

ここでは、動詞である日本語「発達する」と中国語「发达」について、何が発達するのかという点に注目して分析を行う。具体的には日本語ではBCCWJを用いて「〇〇が発達する」を検索し、「〇〇」にあたる名詞にどのような意味分野の語が多く使われているかを分析する。中国語では、BCCを用いて「发达+〇〇」を検索する。日本語の分析と同様に「〇〇」にあたる名詞にどのような意味分野の語が多く使われているかを分析する。

なお、名詞の意味分野は、『分類語彙表』を用いて決定するが、掲載されていない語については、最も近いと考えられる分野に分類した。

5.2 BCCWJによる日本語「発達する」について

表1 日本語「発達する」の対象となる名詞

類 1.11	建築様式, 社会的関係, 吻合
様相 1.13	仕掛け, 特徴, 造巢性, 医療診察システム, メカニズム
力 1.14	体力, 視力
作用 1.15	心身機能, 眼上突起, 火消の組織
空間 1.17	対人関係網, 商業地域, バス網, 交通網
形 1.18	企業形態, 人間, 地層
公私 1.25	都市, 町, 商店街, 集落
社会 1.26	世の中, 市場, 港, 宿屋
機関 1.27	火力発電所, 企業組織, 消費協同組合
心 1.3	精神, 感覚, 味覚, 聴覚, 色彩感覚, 神経, 信仰, 神道, 知恵, 知識, 経済観念, 社会的予期, 占星術, イメージ, 科学, 学問, 自然哲学, 天文学, 微生物学, 海洋生物学, 医学, 思想, 平等思想, 個人主義, 通信手段, 資金調達手段, 情報手段, 方法, 流通手段, 技法, 官僚制度, 制度, 教育制度
言語 1.31	敬語, 通信, インターネット, ネットワーク, 情報, メディア, 口述筆記
生活 1.33	文明, 文化, お茶, 技
行為 1.34	自治権, 知能, 能力, 記憶力, 技巧
交わり 1.35	外交, 国際映画祭
経済 1.37	経済, 紡織資本
事業 1.38	機械生産, 分業, 産業, 第三次産業, 商工業, 商業, 工業, 軽工業, 製造業, 重工業, 牧畜, こんぶ漁, 灌漑, 交通, 羅針盤航海, 予防医療, 治療, テクノロジー, 科学技術, 技術, IT
食料 1.43	料理, 塩辛, 床の間
道具 1.45	照明用具, 国内製品, 雛人形, 絵巻物
機械 1.46	天体望遠鏡, ケーブルテレビ, コンピューター, 通信機器, 機械, 計算機,

	交通機関，交通機関，犬ぞり，軌道，鉄道
土地利用 1. 47	高速道路，林道，鉄道網，下水道，掘抜井戸
物質 1. 51	低気圧，台風，雲，積乱雲
天地 1. 52	地形，扇状地，草原，氷河，自然堤防部分，浅瀬，大森林，ブナ林
植物 1. 54	野菜，根，茎，萼，子葉，胚乳
身体 1. 56	体の仕組み，器官，頭，耳，腰，尾，四肢，関節，足指，弁，筋肉，血合筋，汗腺，脳細胞，脳，大脳皮質，血管系，肺，腎臓，人工肝臓，食道球，腸，卵巢，胎盤，背骨，歯，臼歯，触角，皮下脂肪
生命 1. 57	生命，免疫系

全 278 例の名詞を『分類語彙表』の基準で分類すると，25 類に分けられた。

5.3 BCC による中国語「发达」について

表 2 中国語動詞「发达」の対象となる名詞

公私 1. 25	国家，大国，農，十强县
等級 1. 11	水平，条件
状態 1. 13	状態
場合 1. 1690	環境
空間 1. 17	地域，地区
形 1. 18	行列
量 1. 19	人口，程度，胸部
人物 1. 23	侨乡
成員 1. 24	成員
社会 1. 26	市场，社会，股市，外汇市场，公司，造纸厂
機関 1. 27	地方政府，纺织集团
心 1. 30	学科，产业
生活 1. 33	史，文化，旅游
交わり 1. 35	缔约
政治 1. 3600	资本主义
經濟 1. 37	人均收入，经济，商品经济
事業 1. 38	工业，造船，水利，漕运
物品 1. 40	产品，证券
電気器具 1. 4620	电器
川 1. 5250	水系
身体 1. 56	头脑
生命 1. 57	健康
地方政府	城市，省份，县，省区，省，乡，区，省市，村
固有名詞	牌，路

地域	边疆，区域，地带，地方，市县
----	----------------

全 21610 例を日本語に翻訳し、『分類語彙表』の基準で分類すると、25 類に分けられた。

5.4 「発達」の対象となる名詞の意味分野の比較

5.2, 5.3 の結果を比較する表を、表 3 として示す。

表 3 「発達」の対象となる名詞の日中語間の比較（意味分野別）

	日本語				中国語			
分類	異なり語数	割合	延べ語数	割合	異なり語数	割合	延べ語数	割合
類 1.11	3	2%	3	1%	2	3%	26	0.120%
様相 1.13	5	3%	5	2%	1	2%	56	0.259%
力 1.14	2	1%	2	1%	—	—	—	—
作用 1.15	3	2%	3	1%	—	—	—	—
場合 1.1690	—	—	—	—	1	2%	1	0.005%
空間 1.17	4	2%	4	2%	2	3%	4116	19.047%
形 1.18	3	2%	3	1%	1	2%	4	0.019%
量 1.19	—	—	—	—	3	5%	124	0.574%
人物 1.23	—	—	—	—	1	2%	1	0.005%
成員 1.24	—	—	—	—	1	2%	257	1.189%
公私 1.25	4	2%	8	3%	4	7%	15284	70.727%
社会 1.26	4	2%	5	2%	7	11%	122	0.565%
機関 1.27	3	2%	3	1%	2	3%	590	2.730%
心 1.3	33	19%	40	16%	2	3%	5	0.023%
言語 1.31	8	4%	16	6%	—	—	—	—
生活 1.33	4	2%	15	6%	3	5%	16	0.074%
行為 1.34	5	3%	5	2%	—	—	—	—
交わり 1.35	2	1%	2	1%	1	2%	2	0.009%
政治 1.3600	—	—	—	—	1	2%	165	0.764%
経済 1.37	2	1%	3	1%	3	5%	76	0.352%
事業 1.38	21	12%	53	21%	4	7%	86	0.398%
物品 1.40	—	—	—	—	2	3%	7	0.032%
食料 1.43	3	2%	4	2%	—	—	—	—
道具 1.45	4	2%	4	2%	—	—	—	—
機械 1.46	10	6%	12	5%	1	2%	1	0.005%
土地利用 1.47	5	3%	5	2%	—	—	—	—

物質 1.51	4	2%	8	3%	—	—	—	—
天地 1.52	9	5%	11	4%	1	2%	1	0.005%
植物 1.54	6	3%	7	3%	—	—	—	—
身体 1.56	29	16%	35	14%	1	2%	4	0.019%
生命 1.57	2	1%	2	1%	1	2%	1	0.005%
地方政府	—	—	—	—	9	15%	584	2.702%
固有名詞	—	—	—	—	2	3%	3	1%
地域	—	—	—	—	5	8%	78	36%
総計	178	100%	258	100%	61	100%	21610	100%

まず、延べ語数を比較する．表 3 を見ると、中国語では「发达国家」15258 回、次に「发达地区」4038 回がある．この 2 つは他の語に比べて群を抜いて多く、4.2 で述べたとおり、複合名詞として慣用的な表現になっていると考えられる．この場合の「发达」は状態を示す動詞であるが、日本語では「国家」と「発達する」は結びつきにくい．この点は、中国語の動詞「发达」と日本語の動詞「発達する」と異なる点である．

上記の通り、中国語では「发达国家」「发达地区」の用例が非常に多く、延べ語数での比較結果に意味のあるものが得られない可能性が高い．そこで「異なり語数」を比較することにし、それを図 1 として示す．

図 1 『分類語彙表』意味分野別に見た異なり語数の日中語間の比較

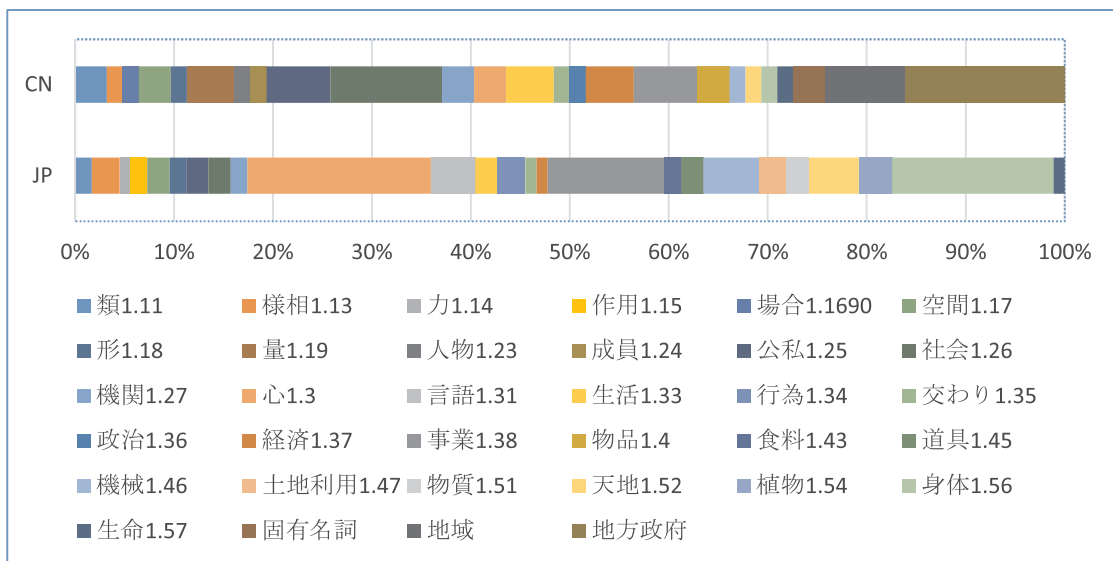


図 1 の CN は中国語、JP は日本語を意味する．

表 3 と図 1 から見ると、日本語「発達する」の対象語として共起する名詞で最も多いのは「心 1.3」で 19%を占める．つまり、「精神、感覚、味覚、聴覚、色彩感覚」である．二番目は「身体 1.56」つまり「器官、頭、耳、腰、尾、四肢、関節」で 16%を占める．三番目は「事業 1.38」つまり「製造業、重工業、牧畜、こんぶ漁、灌漑」で 12%を占める．これ以下、「機械」「天地」と続く．これらの名詞類型は、中国語「发达」でも使用するが、中国語の割合は日本語ほど高くない．

一方、中国語「发达」の対象語として共起する名詞類型で最も多いのは「地方政府」で、16%を占める．つまり、「城市、省份、县、省区、省、乡、区、省市、村」である．二番目は「社会 1.26」つまり「市場、社会、股

市，外汇市场，公司，造纸厂」で11%を占め，三番目は「地域」つまり「边疆，区域，地帯，地方，市县」で8%を占める．それ以下には「事業」「公私」が続く．

このうち，中国語で最も多かった「地方政府」と第三位の「地域」に関する名詞は，日本語「発達する」とはほとんど共起しない．また，「社会 1.26」中の語が日本語「発達する」と共起する例はいくらかみられるが，中国語ほど数は多くない．

比較の結果，次のことが指摘できる．

日本語「発達する」は，身体や心の「発達」という使用例が多く，時間の流れにより自然に発育する状態を表す．また，成長は放っておいてもある程度は実現されるものであり，発達のための人為性はそれほど強くはない．また，成長には限界があり，それを完成像と考えるならば，日本語の「発達する」は，発達の結果というゴールが比較的明確に見えていると思われる．

一方，中国語は地方政府，社会や地域，事業など，社会組織に関係する語と結びつきやすい．身体や心とは異なり，これらは無限に進化することができるものである．つまり，ゴールに近づくということよりも，現在の時点を基準に，過去から進化してきたことを意味するという用法であると考えられる．また，国家や社会を発達させることは放っておいてできることというよりも，人為的に努力し，現在の状態を変えるということに重点のある用法であると考えられる．

6. 日中語間の動詞「発達」の意味用法の比較

これまで観察してきたコーパスのデータをもとに，日本語と中国語の「発達」の意味用法の違いについてまとめる．

6.1 日本語の「発達する」

6.1.1 発達後の到達点について

サ変動詞「発達する」と共起する名詞類型の中で一番多いのは「心 1.30」で，異なり語数は33例ある．「心 1.30」には「精神」「感覚」「学科」「思想」「知能」「文明」などの語が含まれるが，これらは人間が持つ生きる世界や生き方についての体系的な思考内容である．

例1：西洋的な主我的，個人主義的，自治的ということから見てゆきますと，つまり平等思想が発達し易い．（岡正篤『この国を思う』）

例2：古来文明が発達した結果，人間による地形改変と切り離せない災害の歴史に触れたのも本巻の特色となっている．（『神戸新聞』）

例1の「発達する」の意味は，平等思想が進歩して完全な状態に達すること，或いは，その段階に近づくことと解釈できる．この場合，「発達する」の到達点は，理想の状態，または完成形であると言える．

また，次のような例もある．

例3：そしてそれは，大腦新皮質の著しく発達した人間で特に顕著だと思われる．（斎藤成也『遺伝子は35億年の夢を見る』）

例4：免疫系が発達した後は，異系組織抗原に対する免疫寛容を導入することが難しい．（鈴木元『標準免疫学』）

例 5：目の見にくい人は聴覚や皮膚の触覚がよく発達している。（深見嘉一郎『色覚異常』）

例 3 から 5 は、人間の体の成長した状態、つまり完成形を到達点にしている。

一方、例 2 は、現在の状態を到達点とし、その状態に至る動作を「発達する」と言っている。

日本語の「発達する」の到達点には 2 種類あり、一つは完全な状態、つまり完成形を基準にしたもの、もう一つは現在の状態を到達点にしたものである。

6.1.2 能動性の強さ

日本語動詞「発達」は「身体 1.56」に関する語との結びつきも多かったが、これらには「器官」、「筋肉」、「脳」、「肺」、「腰」、「肝臓」、「細胞」などの名詞が含まれる。多くの例が自動詞の非対格動詞として、つまり、意図を持たず受動的に事象に係る対象を主語に取り（影山 1993）、その動作の直接の対象を必要としない。また、「耳」「腰」「筋肉」「神経」は外界の力や対象を必要とせず、時間がたつことで自然に成長するものである。特に、例 3 では、発達させるための具体的で直接的な方法は示されておらず、進歩させるための努力を必要としない場合にも使われる。

例 6：運動不足のためお尻の筋肉が発達せずに足が短くなるようです。（Yahoo!知恵袋）

例 7：体の大型化に伴って、心臓と血管が発達し、排泄器官も後腎に進化した。（東京化学同人『生態学入門』）

6.1.1 と関連して、例 6 は足が短いことが不完全なものと捉えられている。発達しないことで不完全な状態（この例の場合、足が短くなること）になるということは、裏を返せば、発達することによって完全な状態になるということである。完全な発育状態、つまり完成形を到達点として考え、こういう状態に達する動作が日本語「発達する」の使用例に多い。例 7 でも、大型化した体に合う状態が完成形であり、到達点であり、その状態に心臓と血管が到達したということである。

例 8：平安時代は国府のある町、津のある町として、商工業が発達して、多くの人たちで賑わった。（新堀真知子・森川敬子『京都新発見』）

例 8 では、「国府のある町、津のある町」は地理環境の原因で、当時の基準で商工業が栄えている状態に近づいていることを示すが、「商工業が発達」するための人々の努力や具体的な取り組みは記されていない。そのため、この「発達し」は、能動性が高いことを表す表現にはなっていない。

「技術の発達」の例も比較的多い。

例 9：既存の分野の科学技術を結合した新しいタイプの基盤科学技術も発達しており、通商産業省においては産業科学技術研究開発制度により（科学技術庁『科学技術白書』）

例 10：沖縄には種類は少くても、他に類例がない程、壺屋の技術が発達した。（折口信夫『沖縄を憶ふ』）

例 9、10 は、到達点が現在の状況の例である。しかし、いずれも技術の発達を描写として述べている。したがって、能動性の高さを強調するような文ではない。このように 15 例が、能動的に技術を発達「させた」という意味ではなく、自然に発達「した」という表現になっている。

6.1.3 日本語「発達する」の意味用法

ここまでをまとめると、日本語の「発達する」は、①到達点は完成した状態、つまり完成形と、現在の状態の2種がある。また、②能動性が弱い場合も使用できるという特徴がみられる。

①については、完成形である成長した状態をゴールと捉える「心」「身体」と、産業が発達するなどのように、現在の状態を到達基準にしたものの2種がある。後に述べるが、後者は中国語と同じ用法である。

②については、生き物の成長は放っておいてもある程度は実現されるものである。品詞性から見ても、自動詞の非対格動詞として、つまり、意図を持たず受動的に事象に関わる対象を主語にとる。したがって自然に成長するという文脈での「心」「身体」で使用されやすく、日本語「発達する」と結びつきやすい名詞にこの分野の語が多く見られた。

以上の2点を比較の観点とし、中国語の「发达」を分析する。

6.2 中国語の「发达」

6.2.1 発達後の到達点

日本語動詞の「発達」は、上の①で述べたとおり、発達後の到達点には「完成形」と「現在の状態」の2種があった。中国語の「发达」には、到達点を「完成形」であるとは考えにくい例が多い。むしろ、以前よりも良くなった、という意味を表す。

以下、例文を示す。例文の直後の（）内には日本語訳を記した。

例 11 你们这儿可是一个让城里人度假休息的绝好地方,完全可以扭转没落衰败之势,转而发展成为一个著名旅游胜地,从而使村子人丁兴旺很快发达起来。(ここは都会の人が休暇を過ごすには絶好の場所です。没落の勢いを完全に变えて有名な観光地に発展し、村の人口が増えて急速に発展してきました。)(周大新『湖光山色』)

例 12 我不会写悲剧,可是我愿意向这方面努力。我不信我国人比外国人来得笨,欧洲文艺复兴后,他们的悲剧,就立时随着发达起来(私は悲劇を書くことはできませんが、この方面に努力したいです。私は外国人よりわが国の人の方が愚かだとは思いません。ヨーロッパのルネサンス後、彼らの悲劇はすぐに発展してきました。)(冰心『冰心全集第二卷』)

これらの例では、何らかのゴールに到達したという意味ではなく、「増加」に近い意味である。つまり、中国語「发达」は、物事が良い方向に発展していくことを表す。

例 11 のように国家、社会、産業など抽象的な概念名詞が「发达」の対象になっている場合、最終的な状態、つまり、ゴールが何であるのかははっきりしない。このような、「公私 1.25」「空間 1.17」「機関 1.27」「地方政府」など抽象的な概念名詞を対象に取る例が約 94%であり、中国語の「发达」の大部分はこのような表現であり、物事が良い方向に発展していく、または増加に近い意味であると考えられる。

6.2.2 能動性の強さ

日本語の「発達」は②で指摘したとおり、能動性が弱い場合にも使用できた。つまり、人為的に力を加えなくても、自然に「発達」するという意味で使用されている。一方、中国語の場合、次のような例がある。

例 13 我们认为,实行计划生育可以使中国更快地发达起来。(計画出産を実行すれば中国を更に速く発展させられると思います。)(『人民日报』1997 年 1 月 7 日)

例 13 では、「发达」の目的語は「中国」、主語は「实行计划生育」となっている。つまり、「实行计划生育」

という人為的な動作により中国が発達しているという意味になる。

例 14 过去，运输几乎全靠牲畜，现在已筑成四条铁路和许多公路，火车和汽车使阿尔巴尼亚的交通运输业发达起来。（昔の輸送はほとんど家畜でしたが、現在は4つの鉄道と多くの道路が建設されています。列車と自動車はアルバニアの交通運輸業を発達させました。）（『人民日报』1954年11月29日）

例 15 我们相信，当以法律为规范的市场经济发展起来以后，人们就会看到，靠假冒不可能发财，反而会吃“官司”；靠地方保护主义也不可能使经济发达起来。（法律を規範とした市場経済が発展してくると、人々はいつわりでお金持ちになることは不可能で、かえって「訴訟」沙汰になることがわかりました；地方保護主義によっても経済を発展させることはできません。）（『人民日报』1992年12月08日）

例 13, 例 14, 例 15 では、「使～发达」は「発達させる」の意味で、使役である。このように、使役で使用するということは、主体の意志性が強く表現され、主体の能動性が高い表現といえる。そのため、日本語の「発達」に比べて、中国語の「发达」は能動性が高い場合に偏っていると判断する。

また、スローガンでも使用され、例 16 は、たゆまない努力によって「中华民族」を「兴旺」「发达」させることが示される。能動性の高さが明らかとなる例文である。

例 16 战斗正未有穷期。让我们一如既往，为彻底消灭毒品祸害，为青少年一代的健康成长，为中华民族的兴旺发达而不懈努力吧！（戦いはまだ終わりではない。これまでと同じように、麻薬の害を徹底的になくすために、青少年の世代の健康成長のために、中华民族の繁栄と発展のために、たゆまず努力しましょう。）

このような中国語の「发达」の能動性の高さは、目標を達成するために努力して、現在の状態を変えるつもりということを表す。そのため、褒め言葉、賞賛や肯定と言ったポジティブなイメージが強い語である。

例 17 我们有充分的根据相信，这次代表大会制定的正确的纲领，一定能够全面开创社会主义现代化建设的新局面，使我们党兴旺发达，使我们的社会主义事业兴旺发达，使我们的国家和各民族兴旺发达。（私たちは十分な根拠を持っています。今回の代表大会が制定した正しい綱領は、必ず全面的に社会主義現代化建設の新しい局面を切り開き、わが党を繁栄させ、わが社会主義事業を繁栄させ、わが国と各民族を繁栄させ、発展させます。）

例 17 では、国家が国と民族を「发达」させることが述べられ、ポジティブなイメージがあると解釈できる。

6.2.3 慣用的な用法

中国語の「发达」の用例のうち、約 70% は「发达国家」という例であった。

「发达+○○（名詞）」は、「動詞+目的語」の形で、「发达」は動詞としての働きを持つ。しかし、全体として 4 文字の複合名詞を形成する。このような例には、「发达国家」，「发达社会」，「发达农业」，「发达地区」がある。

例 18 此外，多数发达国家 未来数月的经济前景仍持续走弱，其中美国，日本，德国，英国经济增速都呈现放缓势头。（また、多くの先進国の今後数ヶ月の経済見通しは依然として弱まり続けており、米国，日本，ドイツ，イギリスの経済成長率はいずれも減速傾向にある。）（『人民日报』2016年4月13日）

例 19 从总体上看，目前非洲国家正处于努力从不发达状况摆脱出来，逐步向发达社会前进的过渡时期。（全体的

に見て、現在のアフリカ国家は発達しない状況から抜け出して発達した社会に向かおうという過渡期にある。）
（『人民日报』1986年04月04日）

例20 经过朝鲜人民近四十年的艰苦奋斗和辛勤建设，今天的朝鲜已经成为一个具有现代工业和发达农业的蓬勃发展的社会主义国家。（朝鮮人民の四十年近くの刻苦奮闘と努力を経て、今日の朝鮮は近代的な工業と発達した農業を持つ盛んな社会主義国家になりました。）（『人民日报』1987年4月14日）

例21 中共罗甸县委书记余学强说，我们把送干部去沿海发达地区“打工”看成是办了个“人才大学校”。（中国共産党の羅甸県委員会書記の余学強によると、私たちは幹部を沿海の発達した地域に送ってインターンシップをすることを「人材大学校」と見なしている。）（『文汇报』2000年6月14日）

例22 联盟国家还分摊了用于支持欧共体欠发达成员国经济发展的基金。（同盟国はまた、欧州共同体における未発達のメンバー国の経済発展を支援するための基金を割り当てた。）（『人民日报』1992年12月21日）

このように、「发达国家」をはじめとした複合名詞を生み出し、それが多用されている点も、日本語との違いである。

6.3 日中語間の「発達」の意味の違いはなぜ生まれたか？

動詞「发达」には「出世する」という意味もある。これは日本語にはない意味である。

「出世する」は中国の古典語から繁衍してきた意味である。例23、例24の『喻世明言』『警世通言』はともに明代、馮夢龍の作品である。ここに見える用法は現代中国語でも用いられ、とくに現代文学作品に多く現れる。

例23 唐时郑元和做歌郎，唱莲花落，后来富贵发达，一床锦被遮盖。（唐代、鄭元和は歌郎となって「蓮花落」を歌ったが、その後出世して裕福になり、ひとそろいの錦の掛け布団で身を包んだ。）（『喻世明言』巻27「金玉奴棒打薄情郎」）

例24 他料想司马长卿必有发达时分。（司馬長卿にはきっと出世する時が来るだろうと、彼は思っている。）（『警世通言』巻6「俞仲舉題詩遇上皇」）

動詞「发达」が「出世する」という意味を表す時、社会的に特定の高い身分や地位を指す。つまり、発達の基準が明確で、発達後のゴールが明らかである。また、ある人が、社会的な地位や金銭などを求めるという点で、主体の意志性が強く表現され、主体の能動性が高い表現といえる。こういう点から見ると、古代中国語「发达」は発達状態の「ゴールがはっきりする」と「能動性が高い」という二つの特徴を持つ。

しかし、時間がたつにつれて、現代中国語と現代日本語の間に差異が生まれたと思われる。つまり、現代中国語では「ゴールがはっきりしている」という点が、現代日本語では「能動性が高い」という点が、それぞれ弱くなったと考えることもできる。

また、現在確認できる日本文献での「発達」の古い例は、『和英語林集成』の例である。

訳語として、”improve, to become expert or skilful.” があてられる。例文には、”Kenjutsu ni -.”（剣術に発達する）と”Gakumon ni -.”（学問に発達する）の2例が掲載されているが、これらは現代日本語では、「上達、向上、熟練」といった語と対応する。現代語のコーパスのデータでも、上記のような使用例はほとんどない。日本語において、明治期から現代にかけて「発達する」という語の意味が変化している可能性がある。

ただ、日本語と中国語の「発達」の意味変化を歴史的に明らかにすることは本稿の目的ではなく、あくまでも

共時的な分析を目的とするため、ここでは可能性を指摘するにとどめる。

7. まとめ

辞書の比較により、日本語動詞「発達」と中国語「发达」は進む、進歩するという意味を持つことがわかる。しかし、日本語「発達」は台風などの気象現象の拡大という意味がある一方、中国語「发达」にはない。また中国語「发达」は「出世する」という意味がある一方、日本語「発達」はこの意味がないなどの違いが見られた。

そこで、コーパスの検索により、共起する対象語の分析および使用例の分析を行った結果、以下の点が明らかとなった。

共起する対象語については、中国語では多かったものから順に「地方政府」、「社会」、「地域」、「事業」、「公私」であり、日本語では「心」、「身体」、「事業」、「機械」、「天地」であったが、以上のような意味上の差異によるものと思われる。さらに、中国語では「発達国家」「発達経済」のような複合名詞を作ることも特徴である。

日本語動詞の「発達」は、①中国語に比べて発達後のゴールがはっきりしている場合（到達点に達したことを意味する場合）に使用されること、②身体の発達など、人為的な努力を伴わないような場合でも使用でき、中国語に比べると能動性が弱いといえよう。一方、中国語「发达」は、①発達状態のゴールがはっきりしない場合でも使用でき、以前よりも良くなったという意味を表すこと。②人為的で能動性が強い動作であることが指摘できる。これらの点から、中国語の場合には努力の結果というイメージを伴い、ポジティブな評価性を帯びる語であると言えよう。

日本語「発達」と中国語「发达」のような同形同義語は、両国言語に数多く存在する。学習者は詳しく区別しないと母語の影響を受けつつ不自然な言語表現を引き起こしやすい。そのため、同形同義語の研究は中国人日本語学習者にも日本人中国語学習者にも大きな意義があると思われる。

8. 今後の課題

今回の分析の中で、中国語「发达」を日本語に翻訳する際、「発展」と翻訳できる例があった。そのため、日本語の「発達」「発展」と、中国語の「发达」「发展」の4語の関係についてあきらかにすることで、より詳細な意味・用法の異同が明らかになると考える。

また、中国語の古典の用例と、現代中国語、現代日本語の比較や歴史的な変化についても考えてみる必要もある。さらに、他の二字漢語に対象を広げて研究を進めていきたい。

注1：日本語コーパスはサ変動詞「発達する」およびその活用形を検索対象とし、現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)を利用した。現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)は、現代日本語の書き言葉の全体像を把握するために作られた均衡コーパスである。コーパスのデータには書籍、雑誌、新聞、白書、ブログ、オンライン掲示板、教科書、法律条文などが格納され、データ総数は1億430万字に達している。また、文書構造に関するラベルと詳細な書目情報も付されている。

注2：中国語コーパスでは、動詞「发达」を検索対象とした。使用するコーパス是北京語言大学中国語コーパス(BCC)である。北京語言大学中国語コーパス(BCC)は現在公開されているコーパスの中では最大規模で、検索機能が充実しているコーパスである。このコーパスは、現代中国語(新聞、文学、ブログ、科学技術、その他)と古代中国語(古典文学)の多くの分野のデータを含んでおり、総規模は百億字を超える。現代の社会言語生活を全面的に反映するコーパスである。コーパスは文字列、語句と品詞の組み合わせといった検索ができ、データ統計、原文と出典、結果のダウンロードの機能がある。

参考文献：

- (1) 大河内康憲, 「日本語と中国語の同形語」, 『日本語と中国語の対照研究論文集』下 [M], くろしお出版, 1992
- (2) 影山太郎, 『文法と語形成』, ひつじ書房, 1993
- (3) 国立国語研究所編, 『分類語彙表』, 増補改訂版, 大日本図書, 2004
- (4) 呉夫迎, 「中日同形語“感动”と“犠牲”についての比較研究」, 『日中語彙研究』, 2017年第7号, pp. 79-92, 2017
- (5) 中国社会科学院言語研究所詞典編輯室編, 『現代漢語詞典』, 第7版, 商務印書館, 2016
- (6) 中溝朋子・坂井美恵子・金森由美, 「コーパスを利用した「抱く」と「抱える」の異同について: 名詞の共起状況を手掛かりに」, 『大学教育』, 2015年第12号, pp. 53-64, 2015
- (7) 日本国語大辞典第二版編集委員会・小学館国語辞典編集部編, 『日本国語大辞典』, 第2版, 小学館, 2000-2002
- (8) 宮島達夫, 「日中同形語の文体差」, 『阪大日本語研究』, 1993年第5号, pp. 1-18, 1993
- (9) 李喆, 「日中同形語「感動」「感动」の意味用法について」, 『広島女学院大学大学院言語文化論叢』2018年第21号, pp. 11-24, 2018

【付言】本論文は、安徽大学外語学院日語語文学専攻大学院生（高知大学大学院教育学専攻交換留学生：2019年-2020年）の張瑋が本文を構想、執筆し、高知大学の岩城祐之（日本語学）の指導の下に修正を加えたものである。中国語の翻訳点検及び出典表示は、高知大学の遠藤隆俊（東洋史学）が担当した。また、本研究はJSPS科研費「日本僧侶の日記に見える唐宋時代の公私文書に関する史料学的研究」（代表者：遠藤隆俊，2018年-2022年）の成果の一部であり、その助成を受けたものである。

令和2年（2020）10月14日受理

令和2年（2020）12月31日発行